

北上・西和寛

姉妹都市提携調印 友好、発展的交流誓う 北上市と流山市

2020年1月31日付



調印式で盟約書を取り交わし、握手する高橋北上市長（右）と井崎流山市長＝流山市提供

北上市は29日、千葉県流山市と姉妹都市提携を締結した。同日は流山市役所で調印式が行われ、出席者は末永い友好と両市の発展を誓い合った。

両市は1985年、北上市農協（当時）が流山市民まつりに参加したことを機に交流が始まり、流山市からも中学生が北上市に訪れリンゴの摘果作業を体験。2005年には災害時相互応援協定を締結し各分野で親交を深め今回、正式に姉妹都市提携を結ぶ。

式には北上市や市議会、産業・観光団体のトップらが出向き、高橋敏彦市長と流山市の井崎義治市長が盟約書に調印。がっちりと握手を交わした。

高橋市長は「地域の先輩方が30年以上にわたり交流の基礎を築き上げ、今回晴れて（姉妹都市で）仲間入りできる。流山市は毎年人口が増え『都心から一番近い森のまち』『母になるなら、流山市』をキャッチフレーズに都市プロモーションも上手。われわれも見習い、官民で交流を深めていきたい」と語り、井崎市長も「晴れて北上市と姉妹都市の契りを結ぶことができ、流山市民にとってこの上ない喜び。今回を契機に、これまで両市との間で一步一步醸成させてきた交流をさらに深め、行政はもとより団体や住民同士が相互に尊重し合い、両市の発展的交流が未来永劫（えいごう）進められることを切に願う」とコメントした。

流山市は東京都心から25キロ圏内。人口は19万1403人（19年4月1日現在）で、子育て施策の充実もあり近年増加している。

今後両市は児童生徒の交流や職員相互派遣などを検討し、民間レベルでも各分野で交流を活発化させる。北上市の姉妹都市・友好都市提携締結は5自治体目。